

【総領事館からのお知らせ：安全対策情報：12月】

平成30年12月13日（総18第21号）

在デンパサール日本国総領事館

1 ロンボク島における地震

12月上旬、マタラム市近郊においてM5.7の地震が発生しました。この地震による邦人の人的被害の報告は受けていませんが、本年7月以降、同島周辺では地震が断続的に発生しており、引き続き安全の確保と情報収集に努めてください。

(2) アグン山の状況

現在、アグン山の火山活動は落ち着いている状況ですが、噴火警戒レベルは依然としてレベル3（警戒）から変更ありません。引き続き安全の確保と情報収集に努めてください。

2 治安情勢

クリスマスや年末年始には様々なイベント等が行われ、これに集まる不特定多数の人々を標的とするテロの発生が懸念されます。また、一般犯罪の観点からも、新年を祝うイベント会場やその周辺におけるスリやひったくり等の犯罪が増加する傾向があります。被害を未然に防止するためにも、ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所や政府・警察関係施設、宗教関連施設等を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、万一不審な人物や状況を察知した場合には速やかにその場を離れる等、安全確保に努めてください。

3 一般情勢

(1) 大雨・強風・高波に警戒

当地気象庁から、大雨・強風・高波の警報が発出されています。海や山でのレジャーの際には天候の急変等に十分注意して下さい。また、市街地・山間部においては、倒木・土砂崩れ・洪水などの危険がありますので気を付けて下さい。

(2) デング熱

当地では一般的に雨季に入るとデング熱の罹患者が増えると言われていますが、当地保健当局の統計によると9月以降デング熱の発症が増加傾向にあり今後注意が必要です。デング熱には予防接種も予防薬もありませんので、防蚊対策を徹底し感染の予防に努めてください。なお、仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けてください。

(3) 狂犬病

11月下旬から12月上旬にかけて、クルンクン県及びブレレン県で住民が狂犬病ウイルスを持った野犬に咬まれる事案が発生しています。当地では、本年7月以降、クルンクン県及びブレレン県のみならずカラニアッサム県、ギアニャール県及びバンリ県において同様の事案が発生しています。徒歩で移動する場合は野犬等の動物に十分注意し、万一咬まれた場合には、傷口を石鹼と水でよく洗い流し、速やかに医療機関を受診し、ワクチン接種等の治療を受けてください。

(4) 麻薬・薬物への注意

バリ州各地において、国籍を問わず麻薬・薬物関連の逮捕事案が続いています。当地裁判所は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しています。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。

4 邦人事件・事故関係

(1) スリ・ひったくり

累次お知らせのとおり、邦人旅行者のひったくり被害が発生しています。特に深夜から未明にかけての繁華街では、(集団)スリやひったくりが多発しており、徒歩で移動する場合には所持品の管理に注意してください。

- 午後9時半頃、パンタイ・クタ通りを歩行中、後方から進行してきたバイクに乗った2人組に手に持っていたバッグをひたたくられた(サンセットロードでも同種事案の発生あり。)
- 午前4時頃、レギャン通り(ナイトクラブ直近)において、若い男2人組のバイクタクシーに執拗に声を掛けられ、後刻気が付いたら鞆の中に入れていた旅券等在中のケースがなくなっていた。

(2) 車上ねらい

クタ海岸で車上ねらいが発生しています。クタ海岸等多くの人を訪れる場所では、人混みに紛れて犯人が犯行の機会を窺っている可能性もあります。車両から離れる際には、貴重品の管理に注意してください。

- 財布、旅券等在中のバッグをガイドの車両内に置き約3時間、クタ海岸で過ごした後車両に戻ったところバッグがなくなっていた。

(3) 置き引き

クタ海岸で置き引きが発生しています。上記車上ねらいと同様、人混みに紛れて犯人が犯行の機会を窺っている可能性もあります。貴重品の管理に注意してください。

- 午前1時半ころ、パスポート等在中のバッグを体側に置きビーチに座ってくつろいでいたところ、気が付いたらバッグがなくなっていた。

(4) 空き巣

邦人が短期滞在するヌサドゥア地区の宿泊施設において、何者かが留守中に室内に侵入し、スーツケース内から現金を窃取する事案が発生しました。宿泊にあたっては、セーフティボックスの有無等可能な限り施設の安全性を確認するとともに、貴重品の管理に注意してください。

5 その他

(1) 飲酒運転に注意

年末年始は何かと飲酒の機会が増えますが、飲酒運転は当国でも違法です。飲酒運転で事故を起こした場合には重い刑罰が科せられることとなりますので厳にご注意ください。

(2) イベント会場等における事故防止

過去に、新年を迎えるカウントダウンの後に発射された花火が邦人観光客の体に当たり負傷するといった事案が発生しています。花火等の使用が予想される場所においては、被害に遭わぬよう周囲の状況に注意を払い、安全確保に努めてください。

(3) 年末年始における当館の休館日

12月25日(火)及び26日(水)は当地の祝日のため休館日となります。また、12月29日(土)から来年1月3日(木)までは休館日となります。休館日及び開館時間外の夜間においても、緊急の場合には、当館代表(0361-227628)でオペレーターが対応いたします。